

UB-Xa D

Classic Analog 16-Voice Multi-Timbral Polyphonic Desktop Synthesizer with 8 Vintage Modes and Dual VCFs

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

**警告**

デバイスを設置または操作する前に、電気および安全に関する情報について、下部筐体の外側にある情報を参照してください。

法的放棄

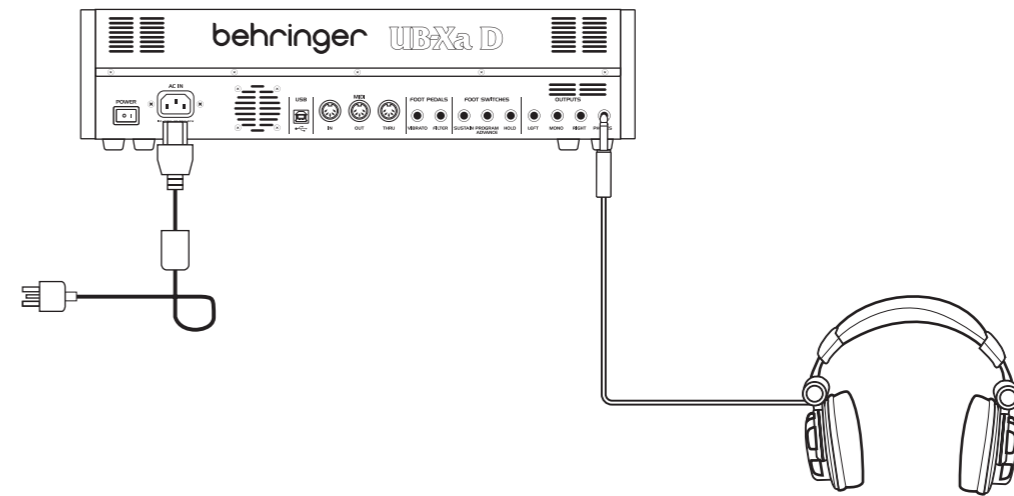
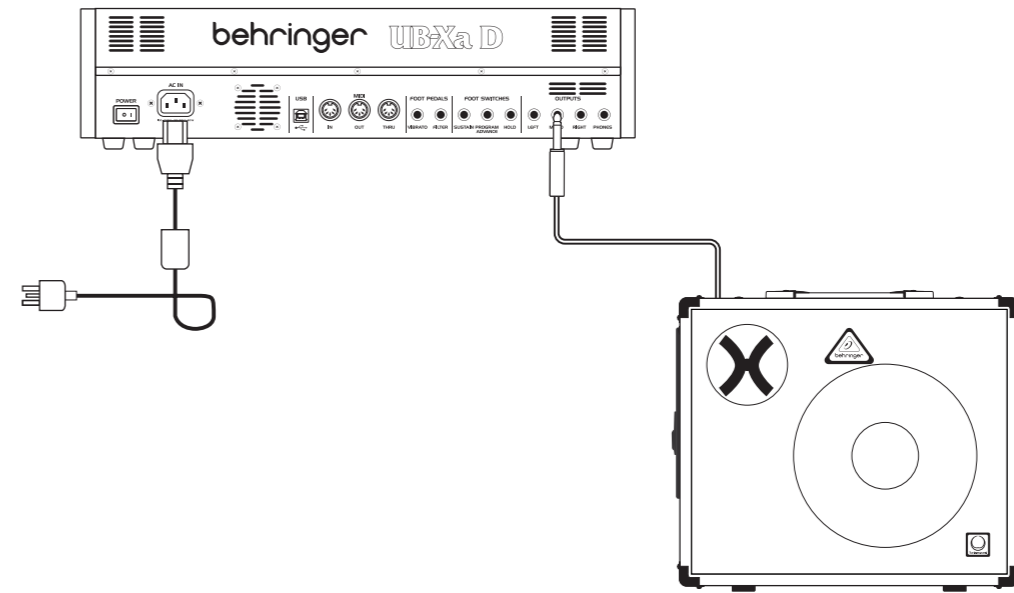
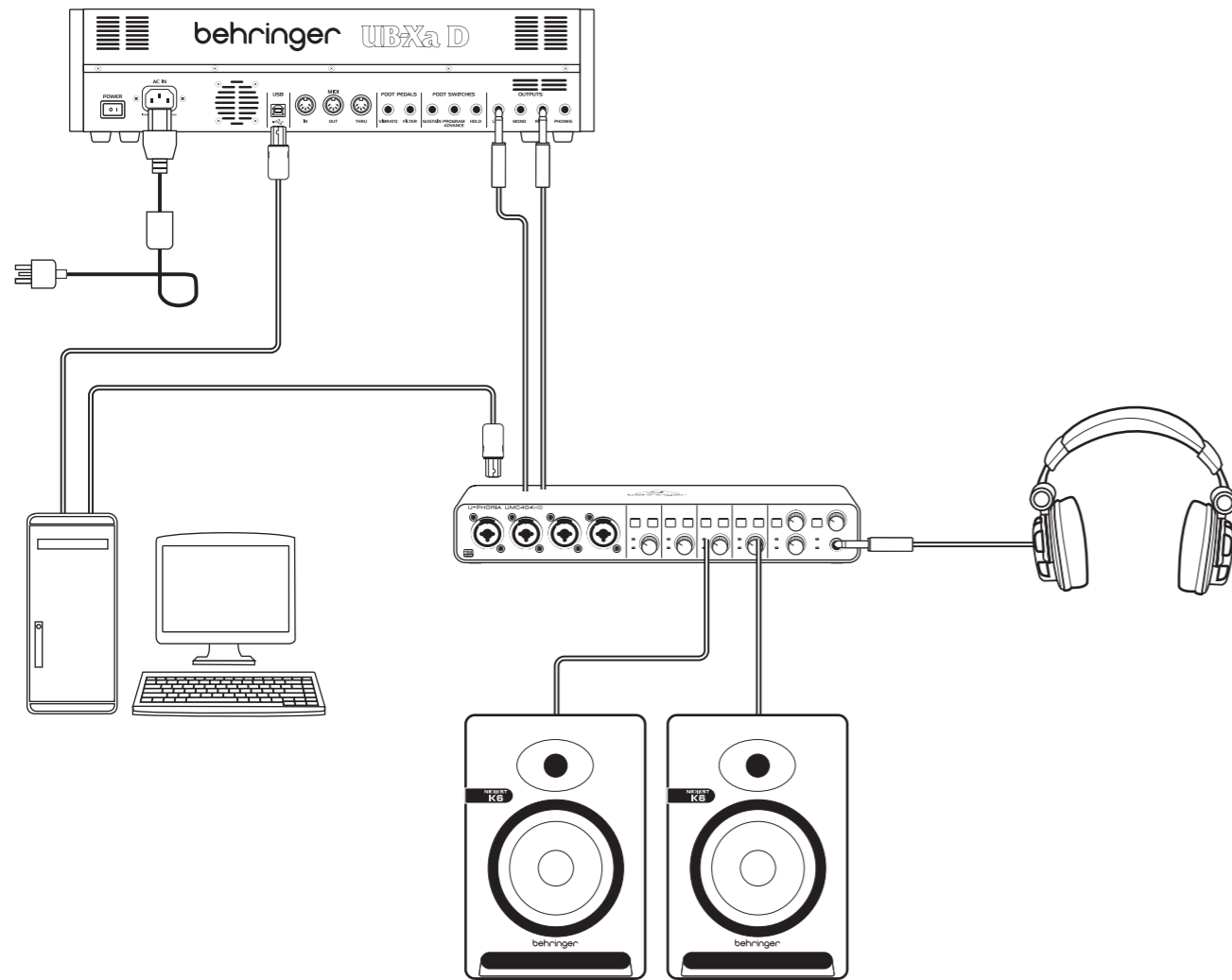
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

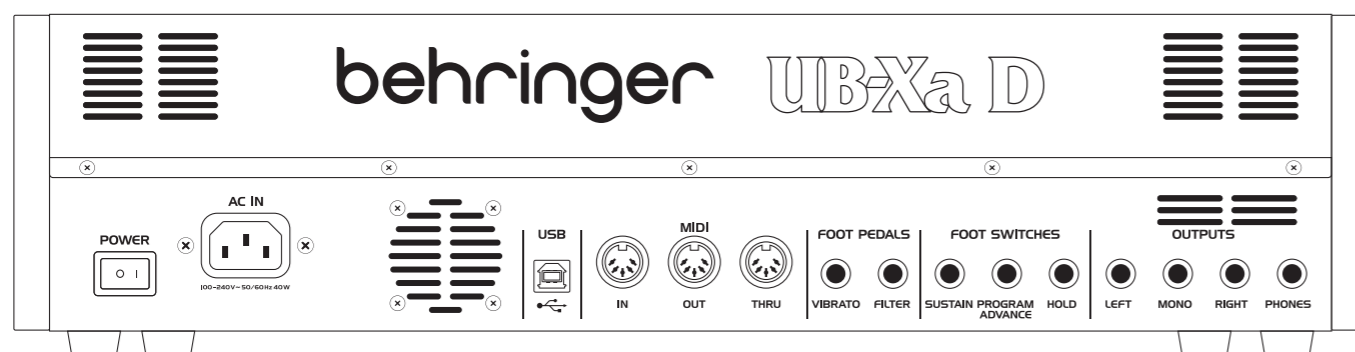
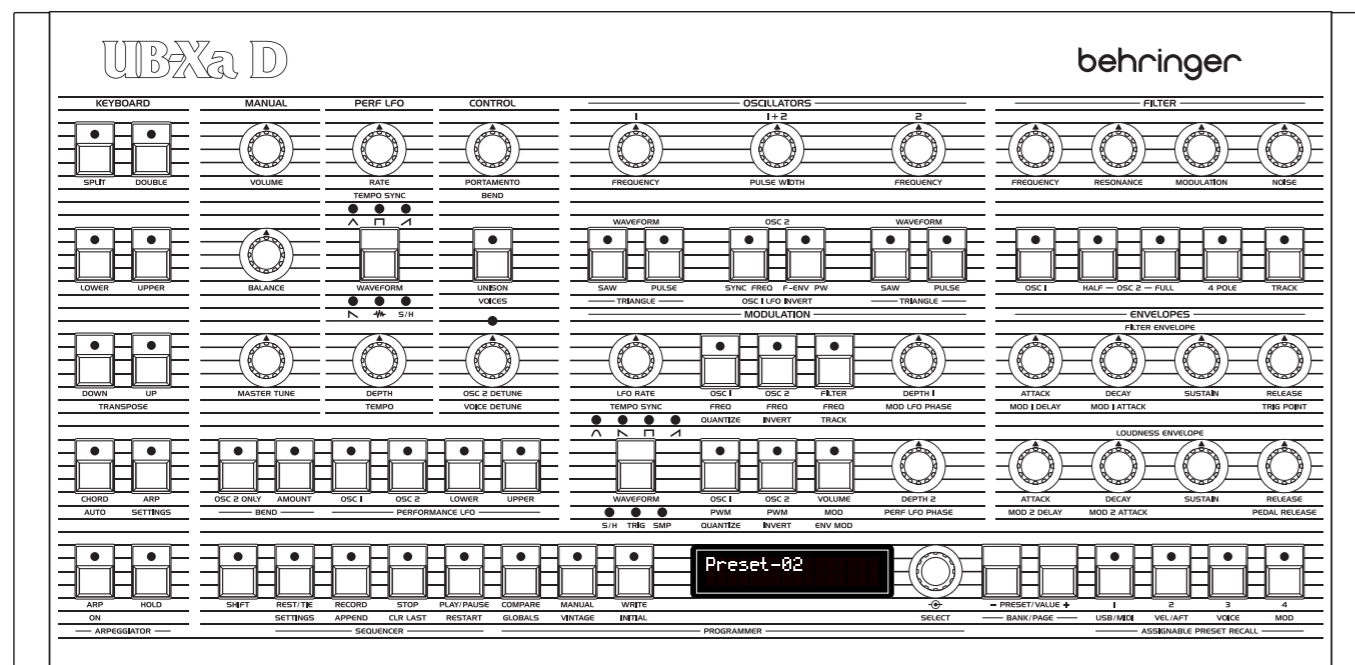
UB-Xa D フックアップ

ステップ 1: フックアップ

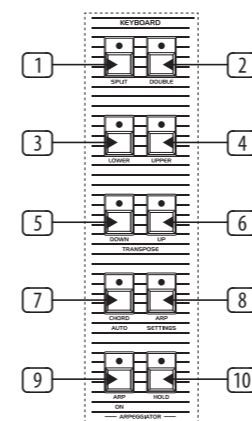


UB-Xa D コントロール

JP



ステップ 2: コントロール

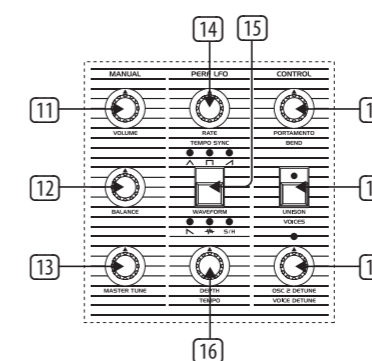


キーボード

- 1 SPLIT - キーボードを分割して2つのパッチを同時に使用します。分割ポイントは、分割ボタンを押しながら希望のキーを選択することで任意のキーに割り当てることができます。
- 2 DOUBLE - 2つのパッチを同時に使用できるようにします。1つの音として演奏することも、2つの独立したMIDIチャンネルを介して分割して演奏することもできます。
- 3 LOWER - 下部のパッチを編集するために選択します。
- 4 UPPER - 上部のパッチを編集するために選択します。
- 5 TRANSPOSE DOWN - ボタンを押すごとにキーボードを1オクターブ下に移動します。
- 6 TRANSPOSE UP - ボタンを押すごとにキーボードを1オクターブ上に移動します。
- 7 CHORD - コードを押し続け、その後CHORDを押すことで、トランスポジションを含むコードが演奏されます。これは上部と下部のセクションで独立して機能します。

アルペジエーター (ARP)

- 8 SETTINGS - アルペジエーターの設定メニューに入ります。
- 9 ON - アルペジエーターのオンとオフを切り替えます。
- 10 HOLD - アルペジエーターのコードを演奏後に保持することができます。



マニュアル

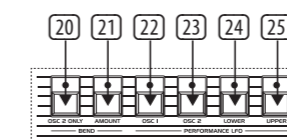
- 11 VOLUME - マスターボリュームを0%から100%に調整します。
- 12 BALANCE - スプリットまたはダブルプログラムの2つのパッチ間のレベルを調整します。
- 13 MASTER TUNE - 全体の調律を調整します。
- 14 RATE - LFOの速度を0.06 Hzから50 Hzに設定します。
- 15 WAVEFORM - 押して利用可能な6つの波形のうち1つを選択します: 正弦波、鋸歯波、矩形波、ランプ波、ノイズ、またはサンプル&ホールド。
- 16 DEPTH - パフォーマンスLFOのモジュレーション深度を設定します。

パフォーマンスLFO

- 17 PORTAMENTO - 各音の音高が変更される際に、その音のポルタメント率を決定します。ノートのポルタメントはポリフォニックなので、各音は独立して音から音へと滑ります。
- 18 UNISON - オンにすると、すべての音が1つのキーで演奏されます。このモードでは、UB-Xa Dは低音の優先度が低い状態で動作します。スプリットモードの場合、Unison機能はキーボードの2つのレイヤーに対して独立しています。
- 19 OSC 2 DETUNE - 振動子2のデチューン。コントロール上のLEDは、OSC 2がOSC 1からデチューンされている場合に点灯します。

コントロール

- 20 OSC 2 ONLY - このスイッチがオンの場合、PITCH BEND入力は各音の振動子2のみを曲げます。これはOSC 2が同期しているプログラムに興味深い効果を与えます。スイッチがOFFの場合、PITCH BENDレバーは各音の両方の振動子を制御します。
- 21 NARROW - このスイッチは、PITCH BENDレバーの範囲を制御します。オンの位置では、PITCH BENDレバーの範囲は1オクターブ上または下に移動します。オフの位置では、PITCH BENDレバーは音程を1オクターブ上または下に移動できます。
- 22 OSC 1 MOD - MIDI CCを介してOSC 1を制御するスイッチをONにします。
- 23 OSC 2 MOD - MIDI CCを介してOSC 2を制御するスイッチをONにします。
- 24 LOWER - 下部レイヤーのためにLFOをアクティブにします。
- 25 UPPER - 上部レイヤーのためにLFOをアクティブにします。
- 26 OSC 1 FREQUENCY - 振動子1の周波数を4オクターブ範囲で調整します。
- 27 OSC 1+2 PULSE WIDTH - 両方の振動子のパルス幅を調整します。
- 28 OSC 2 FREQUENCY - 振動子2の周波数を4オクターブ範囲で調整します。半音単位でステップされます。
- 29 SAW - 振動子1の鋸歯波をオンにします。
- 30 PULSE - 振動子1の矩形波をオンにします。SawとPulseを同時に押すとTriangle波形を使用します。
- 31 SYNC - OSC2をOSC1の倍音にロックするためのスイッチを切り替えます。
- 32 F-ENV - このスイッチにより、フィルターエンベロープがOSC 2の周波数をモジュレーションすることができます。
- 33 SAW - 振動子2の鋸歯波をオンにします。



バンド

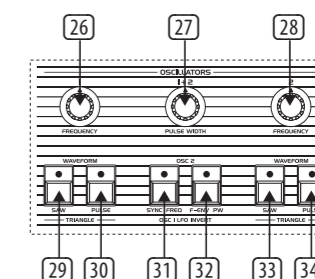
- 20 OSC 2 ONLY - このスイッチがオンの場

合、PITCH BEND入力は各音の振動子2のみを曲げます。これはOSC 2が同期しているプログラムに興味深い効果を与えます。スイッチがOFFの場合、PITCH BENDレバーは各音の両方の振動子を制御します。

- 21 NARROW - このスイッチは、PITCH BENDレバーの範囲を制御します。オンの位置では、PITCH BENDレバーの範囲は1オクターブ上または下に移動します。オフの位置では、PITCH BENDレバーは音程を1オクターブ上または下に移動できます。

モジュレーション

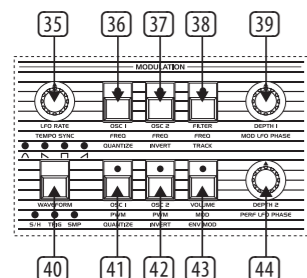
- 22 OSC 1 MOD - MIDI CCを介してOSC 1を制御するスイッチをONにします。
- 23 OSC 2 MOD - MIDI CCを介してOSC 2を制御するスイッチをONにします。
- 24 LOWER - 下部レイヤーのためにLFOをアクティブにします。
- 25 UPPER - 上部レイヤーのためにLFOをアクティブにします。



オシレーター

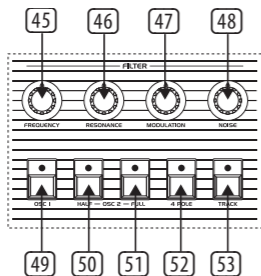
- 26 OSC 1 FREQUENCY - 振動子1の周波数を4オクターブ範囲で調整します。
- 27 OSC 1+2 PULSE WIDTH - 両方の振動子のパルス幅を調整します。
- 28 OSC 2 FREQUENCY - 振動子2の周波数を4オクターブ範囲で調整します。半音単位でステップされます。
- 29 SAW - 振動子1の鋸歯波をオンにします。
- 30 PULSE - 振動子1の矩形波をオンにします。SawとPulseを同時に押すとTriangle波形を使用します。
- 31 SYNC - OSC2をOSC1の倍音にロックするためのスイッチを切り替えます。
- 32 F-ENV - このスイッチにより、フィルターエンベロープがOSC 2の周波数をモジュレーションすることができます。
- 33 SAW - 振動子2の鋸歯波をオンにします。

- 34 PULSE - 振動子2の矩形波をオンにします。SawとPulseを同時に押し両方の波形を使用します。SawとPulseスイッチがオフの場合、Triangle波形がアクティブになります。



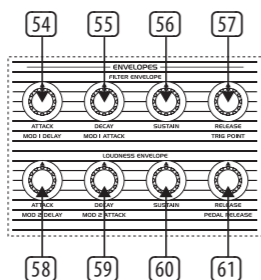
LFO

- 35 RATE - LFOの速度を0.06 Hzから50 Hzに設定します。
- 36 OSC 1 PWM - OSC 1のパルス幅変調をオンにします。
- 37 OSC 2 PWM - OSC 2のパルス幅変調をオンにします。
- 38 VOLUME MOD - モジュレーションを電圧制御アンプ (VCA) の音量にルーティングします。
- 39 DEPTH 1 - ボタン36 - 38のモジュレーション深度を設定します。
- 40 WAVEFORM - 押しして利用可能な6つの波形のうち1つを選択します: 正弦波、鋸歯波、矩形波、ランプ波、サンプル&ホールド、TRIG (LFOキー同期、長押しで有効化) およびSMP (サンプルされたビブラート、このモードはModulation PanelのLFOをサンプリングし、異なる波形と速度に設定できます)。
- 41 OSC 1 FREQ - 音程変調をOSC 1の周波数にルーティングします。
- 42 OSC 2 FREQ - 音程変調をOSC 2の周波数にルーティングします。
- 43 FILTER FREQ - フィルターの周波数変調をルーティングします。
- 44 DEPTH 2 - ボタン41 - 43のモジュレーション深度を設定します。



フィルター

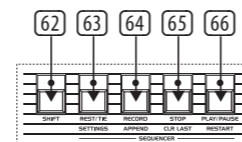
- 45 FREQUENCY - ローパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。
- 46 RESONANCE - フィルターの共鳴を調整します。これによりカットオフポイント周辺の周波数が強調されます。
- 47 MODULATION - LFOによって設定されたモジュレーションの量を制御します。
- 48 NOISE - 使用するノイズの量を調整します。0%から100%まで。
- 49 OSC 1 FILTER - このスイッチはOSC 1からフィルターへの出力をオンまたはオフに切り替えます。
- 50 HALF OSC 2 - Halfスイッチは、OSC 2信号をフィルターに送信し、完全出力より約5 dB低くします。
- 51 FULL OSC 2 - Fullスイッチは、OSC 2信号をフィルターに完全出力で送信します。
- 52 4 POLE - 2極ローパスフィルターを4極バージョンに切り替えます。
- 53 TRACK - このスイッチは、各音に送信されるキーボード電圧をフィルターの周波数制御入力に適用するかどうかを決定します。フィルターは有効になるとキーボードを追跡します。



エンベロープ

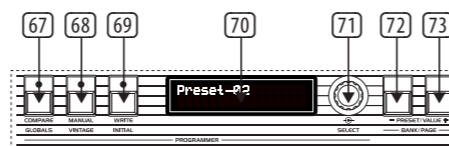
- 54 ATTACK - フィルターエンベロープのアタックタイムを制御します。
- 55 DECAY - フィルターエンベロープのディケイタイムを制御します。
- 56 SUSTAIN - フィルターエンベロープのサステインレベルを制御します。
- 57 RELEASE - フィルターエンベロープのリリースタイムを制御します。

- 58 ATTACK - ラウドネスエンベロープのアタックタイムを制御します。
- 59 DECAY - ラウドネスエンベロープのディケイタイムを制御します。
- 60 SUSTAIN - ラウドネスエンベロープのサステインレベルを制御します。
- 61 RELEASE - ラウドネスエンベロープのリリースタイムを制御します。



その他のコントロール

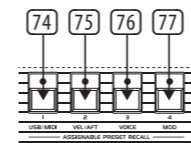
- 62 SHIFT - Shift機能を使用するために押します。
- 63 REST/TIE - 音符をタイでつないだり、シーケンスに空のステップを追加したりします。
- 64 RECORD - ノートデータをシーケンスに入力するためにレコードモードに入ります。
- 65 STOP - シーケンサーの実行を停止します。
- 66 PLAY/PAUSE - 再生または一時停止をするために押します。



プログラマー

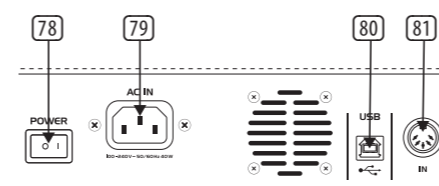
- 67 COMPARE - 元の保存済みパッチに変更が加えられた後に押しして比較します。
- 68 MANUAL - マニュアルモードでは、シンセサイザーのサウンドはコントロールの実際の物理的な設定を反映します。マニュアルモードはスプリットやダブルモードでは使用できません。
- 69 WRITE - パッチを保存するために押します。選択コントロールを使用して保存先を選択し、押しして確認します。スプリットまたはダブルプログラムを保存するには押しして保持し、選択コントロールを使用して保存先を選択し、押しして確認します。
- 70 LCD DISPLAY - 2x16文字のLCDディスプレイ。
- 71 SELECT - 値を調整するために回転エンコーダーを使用し、押しして機能を入力します。

- 72 - PRESET/VALUE - 値を1減少させます。
- 73 + PRESET/VALUE - 値を1増加させます。



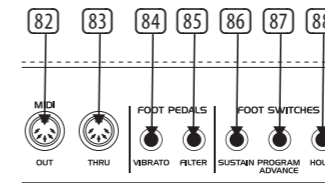
アサイン可能なプリセットリコール

- 74 1 - ボタンの組み合わせを押すことでさまざまなプリセットにアクセスできます。またはシフトボタンを使用してUSB/MIDIメニューにアクセスするために使用します。
- 75 2 - ボタンの組み合わせを押すことでさまざまなプリセットにアクセスできます。またはシフトボタンを使用してボイスメニューにアクセスするために使用します。
- 76 3 - ボタンの組み合わせを押すことでさまざまなプリセットにアクセスできます。またはシフトボタンを使用してモッドメニューにアクセスするために使用します。
- 77 4 - ボタンの組み合わせを押すことでさまざまなプリセットにアクセスできます。またはシフトボタンを使用してモッドメニューにアクセスするために使用します。



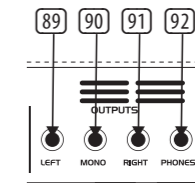
リアパネル

- 78 POWER - UB-Xa Dの電源をオン/オフにします。
- 79 AC IN - 標準のIECケーブルで電源源に接続します。AC範囲100V - 240V。
- 80 USB - 標準のUSBケーブルを介してコンピュータに接続します。
- 81 MIDI IN - シーケンサーやDAWなどの外部MIDIデバイスからのMIDIデータの入力に使用します。



- 82 MIDI OUT - 外部MIDIデバイスへのMIDIデータの出力に使用します。
- 83 MIDI THRU - 他のデバイスにチェーンするためのMIDI INの直接出力です。
- 84 VIBRATO - ビブラートフットペダル用の入力です。これにより、プログラムされたビブラートの量を完全にオフから、プログラムされたビブラートの量によって決まる最大値まで制御することができます。
- 85 FILTER - マスターフィルターフットペダルの入力です。これにより、全てのフィルターのカットオフ周波数を、踏まないときよりもわずかに低い周波数から著しく高い周波数まで制御することができます。
- 86 SUSTAIN - サステインフットスイッチ用の入力です。アクティブにすると、両方のエンベロープのリリースパラメータが各パッチでプログラムされた量に設定されます。ペダルサステイン時間はエンベロープの前面パネルのリリース時間と同じ範囲です。ダブルまたはスプリットモードでは、両方のパッチが各自のプログラムされたペダルサステイン時間に従って消音されます。

- 87 PROGRAM ADVANCE - プログラムアドバンスフットスイッチ用の入力です。アクティブにすると、プログラマが次のプログラムに進むようになります。たとえば、現在プログラムA5が選択されている場合、このスイッチを押すとプログラマはプログラムA6に進みます。
- 88 HOLD - Holdボタンと同じように動作し、アクティブ時にHold LEDが点灯します。



- 89 LEFT - ¼インチ (6.35mm) TRSコネクタを介してメイン左出力。
- 90 MONO - ¼インチ (6.35mm) TRSコネクタを介してモノ出力。
- 91 RIGHT - ¼インチ (6.35mm) TRSコネクタを介してメイン右出力。
- 92 PHONES - ¼インチ (6.35mm) TRSコネクタを介してヘッドホンを接続。

UB-Xa D はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この「始め方ガイド」は、UB-Xa D をセットアップし、その機能を簡単に紹介するのに役立ちます。

接続

UB-Xa D をシステムに接続するには、このドキュメントの前部にある接続ガイドを参照してください。

ソフトウェアのセットアップ

UB-Xa D はUSB Class Compliant MIDI デバイスであり、したがってドライバのインストールは必要ありません。UB-Xa D D はWindows とMacOS とともに使用する際には、追加のドライバは必要ありません。

ハードウェアのセットアップ

システム内のすべての接続を行ってください。接続を行う際は、UB-Xa D D の電源を切っておいてください。

音響システムの音量を下げてください。

UB-Xa D の電源をオンにする前に、パワーアンプをオンにすることなく、最後にオフにしてください。これにより、スピーカーからのパワーオンやパワーオフ時の「ポップやゴツン」といった音が防止されます。

ウォームアップ時間

録音やライブパフォーマンスの前に、UB-Xa D D をウォームアップするために15分以上の時間を確保することをお勧めします。(寒い場所から持ち込まれた場合はそれ以上の時間が必要かもしれません。)これにより、精密回路が通常の動作温度と調整された性能に達する時間が確保されます。

ファームウェアの更新

Behringer Synth ツールアプリのアップデートについては、定期的にbehringer.com のウェブサイトをチェックしてください。

アプリは最新のファームウェアファイルを検索し、それをダウンロードしてUB-Xa D を更新するために使用します。

スプリット/デュアルモード

SPLITモードを押すと、キーボードがスプリットされ、スプリットポイントの両側で上部と下部のパッチが使用されます。スプリットノートは任意の音符に変更できます。各セクションは同じMIDIチャンネルに設定するか、異なるMIDIチャンネルに設定することができます。

スプリットポイントを変更するには、SPLIT を押しながらキーを押します。キーを押すことで、上部キーボードの最低音符が設定されます。

デュアルモードは、2つのパッチを重ねて使用することを可能にします。それらは同じMIDIチャンネルを持つか、独立したMIDIチャンネルを持つことができます。これにより、外部のMIDI対応デバイスがUB-Xa D をトリガーすることができます。

注意：スプリットまたはデュアルモードがアクティブな場合、マニュアルモードは使用できません。

シフト機能

ボイスデチューン (SHIFT&OSC 2デチューン)

すべてのボイスを4度上または4度下にデチューンします。制御の上にあるLEDが点灯すると、ボイスはデチューンされます。ボイスデチューンコントロールを完全に反時計回りに回すことでゼロデチューンが達成されます。

クオンタイズ1 (SHIFT&OSC 1 PWM)

これにより、LFOのスウィープが半音ステップに量子化され、OSC 1周波数、OSC 2周波数、およびフィルター周波数に影響を与えます。

クオンタイズ2 (SHIFT&OSC 1周波数)

これにより、LFOのスウィープが半音ステップに量子化され、OSC 1パルス幅 (PW)、OSC 2 PW、およびVol Modに影響を与えます。

インバート1および2 (SHIFT&OSC 2 PWM / SHIFT&OSC 2周波数)

これらのスイッチはLFOエンベロープを反転します。インバート1はOSC 1周波数、OSC 2周波数、およびフィルター周波数に影響を与えます。インバート2はOSC 1 PW、OSC 2 PW、およびVolume Modに影響を与えます。INVERTがオフの場合、LFOは各音符をゼロモジュレーションで開始し、関連するDepthコントロールによって設定された深度まで、DelayおよびAttack時間コントロールで設定された時間で増加します。Invertがオンの場合、LFOはDepthコントロールで設定されたモジュレーション深度から各音符を開始し、DelayおよびAttackコントロールで設定された時間でゼロモジュレーションに減少します。

ウェーブフォーム

TRIGモードをオン/オフにするために押し続けます。各新しいキーの押下でエンベロープが再トリガされます。

LFOトラック (SHIFT&フィルター周波数)

これにより、キーボードの1/4がLFOのレートに追加されます。キーボード上で4オクターブごとにLFO速度が倍増します。

LFO ENV MOD (SHIFT&VOLUME MOD)

LFOエンベロープモジュレーションのオン/オフ。このスイッチをオンにすると、LFO 2エンベロープをLFOのレートを制御するために切り替えます。LFO 2のデブスコントロー

ルはモジュレーションの量を制御します。このスイッチがオンの場合、Delay 2、Attack 2、およびInvert 2はすべて、LFOのレートに影響を与えます。

LFO位相90°180° (SHIFT&OSC 1 SAW / SHIFT&OSC 1 PULSE)

これらのスイッチはLFOの位相を変更します。両方のスイッチがオフの場合、すべての音声のLFOは位相が同期しています。これらのボタンは、音声1-4に対して音声5-8のLFO位相を音声1-4のLFO位相に対して90°または180°ずらします。

OSC 1 LFO反転周波数/PW (SHIFT&OSC 2 SAW / SHIFT&OSC 2 PULSE)

OSC 1周波数とパルス幅のLFOコントロールを反転します。

設定 (SHIFT&休符/タイ)

シーケンサーの設定：音符の長さ、ゲート、スイング。

APPEND (SHIFT&RECORD)

この機能を使用して、元の設定を削除せずに事前に録音されたシーケンスを拡張できます。

CLR LST (SHIFT&STOP)

シーケンスの最後の音符を消去します。

RESTART (SHIFT&PLAY/PAUSE)

シーケンサーを開始位置に戻します。

GLOBALS (SHIFT&COMPARE)

グローバルな設定。

VINTAGE (SHIFT&MANUAL)

ビンテージの退化設定。

INITIAL (SHIFT&WRITE)

すべてのパラメータをデフォルト値にリセットします。

MOD 1&2 DELAY (SHIFT&ATTACK)

これにより、LFOエンベロープの遅延時間が設定されます。遅延はゼロから最大3.5秒までの範囲です。新しい音符が再生されるたびに、遅延がリセットされます。Mod 1はOSC 1周波数、OSC 2周波数、およびフィルター周波数に影響を与えます。Mod 2はOSC 1 PW、OSC 2 PW、および音量Modに影響を与えます。

MOD 1&2 ATTACK (SHIFT&DECAY)

これにより、LFOエンベロープのアタックタイムが設定されます。アタックタイムはゼロから最大3.5秒までの範囲です。新しい音符が再生されるたびに、アタックがリセットされます。Mod 1はOSC 1周波数、OSC 2周波数、およびフィルター周波数に影響を与えます。Mod 2はOSC 1 PW、OSC 2 PW、および音量Modに影響を与えます。

MOD 1 TRIGポイント (SHIFT&フィルターエンベロープリリース)

トリグ波形は、トリグポイントコントロールを回すことでサイクルの任意の地点で再トリガーされるように設定できます。

ペダルリリース (SHIFT&LOUDNESS ENV RELEASE)

このコントロールを使用して、LFO MOD 2のリリース部分をフットペダルで制御できます。

バンク/ページ (SHIFT&プリセット/バリュウ)

バンクやページの位置を変更します。

USB/MIDI設定 (SHIFT&ASSIGN 1)

USBおよびMIDIポートのMIDIチャンネルを設定します。通常/アッパー、スプリット、またはダブル。また、キーボードをLocal Offモードで切り替えることもできます。

VEL/AFT設定 (SHIFT&ASSIGN 2)

このメニューには、さまざまなベロシティおよびアフタータッチモードの設定が含まれています。

VOICE (SHIFT&ASSIGN 3)

各個別音声のパンニング (モジュレーションマトリックスを介して個別にモジュレーションできます)

MOD (SHIFT&ASSIGN 4)

上部と下部の両方のための10通りのモジュレーションマトリックス。ソースから目的地への割り当てが可能ですが、同じレイヤーから、上部または下部からである必要があります。

割り当て可能なプリセットの呼び出し

4つの割り当て可能なプリセットの呼び出しボタンは、お気に入りのパッチを迅速に呼び出すために使用できます。パッチを割り当てるには：

- MEMORY/WRITE (27)割り当てたいパッチを選択します。
- MEMORY/WRITE (27)パッチを割り当てたい番号を押し続けます (最大で4つのボタンの組み合わせが可能)。
- MEMORY/WRITE (27)アクションを確認するためにWriteボタンを押します。

注意：4つのボタンは、多くの組み合わせで最大15の異なるパッチの位置を呼び出すために使用できます。たとえば、1と4を同時に押して押し続け、次に書き込みボタンを押すと、次回1を押し続けると同じパッチが呼び出されます。これは、1または4それぞれを単独で押し続ける場合とは異なるパッチの位置です。

パッチ機能

パッチの保存

- MEMORY/WRITE (27)Writeボタンを押します。
- MEMORY/WRITE (27)+/- ボタンを使用して保存先を選択します。
- MEMORY/WRITE (27)パッチ名を変更したい場合は、Select エンコーダを押します。
- MEMORY/WRITE (27)セレクトエンコーダを使用して文字をスクロールし、+/- ボタンを使用してパッチ名をスクロールします。
- MEMORY/WRITE (27)Writeボタンを再度押します。
- MEMORY/WRITE (27)セレクトエンコーダを使用して確認またはキャンセルします。
- MEMORY/WRITE (27)パッチを保存するためにWriteボタンを押します。

MEMORY/WRITE (27)シーケンサーの機能

MEMORY/WRITE (27)各UB-Xa D プログラムには、64ステップの8音符のポリフォニックシーケンスが組み込まれています。音符とゲートの長さを調整するには、Shiftボタンとシーケンサーの設定ボタンを押します。

シーケンスの録音：

- MEMORY/WRITE (27)Recordボタンを押します。
- MEMORY/WRITE (27)+/- ボタンを押してシーケンスの最初に移動するか、停止ボタンを押して現在のSEQの開始位置に戻ります。
- MEMORY/WRITE (27)音符やコードを押し、各ステップが再生されるたびにステップインジケータが増加します。レストやタイドノートは、それぞれのボタンを使用して追加できます。
- MEMORY/WRITE (27)エラーが発生した場合は、ShiftボタンとCLR LSTボタンを押して最後のステップをクリアします。
- MEMORY/WRITE (27)完了したらRecordボタンを押すと、シーケンスが再生されます。

MEMORY/WRITE (27)シーケンスの保存：

- MEMORY/WRITE (27)シーケンスを保存するには、Writeボタンを押します。
- MEMORY/WRITE (27)セレクトエンコーダを押してシーケンス番号を確認します。

注意：シーケンスを録音した後、現在のシーケンスの再生を終了するために停止ボタンを押してください。これにより、シーケンスがクリアされます。シーケンスを再録音

したい場合は、Recordボタンを押して録音モードに入り、音符を押さずに再度Recordボタンを押すと、以前に録音されたシーケンスに戻ります。ただし、音符を押すとシーケンス全体がクリアされ、新たに開始できます。

ペダルの入力

3つのスイッチと2つのCVペダルは、すべてデフォルトの割り当てから完全に割り当てられます。これはグローバル設定メニューで行います。制御オプションは次のとおりです。

スイッチペダルの割り当て：

- MEMORY/WRITE (27)パッチアップ
- MEMORY/WRITE (27)パッチダウン
- MEMORY/WRITE (27)プログラムアップ
- MEMORY/WRITE (27)プログラムダウン
- MEMORY/WRITE (27)サステイン
- MEMORY/WRITE (27)ホールド
- MEMORY/WRITE (27)ソステヌート
- MEMORY/WRITE (27)レガート

CVペダルの割り当て：

- MEMORY/WRITE (27)フィルター
- MEMORY/WRITE (27)ヴィブラート
- MEMORY/WRITE (27)アタック
- MEMORY/WRITE (27)リリース
- MEMORY/WRITE (27)ディケイ

JP 技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャー

ボイス数	16ボイスバイティンバー
種類	アナログ
発振器	32
ティックカー	2
VCF	1つのローパス、2極または4極(12dBまたは24dB/octスロープ)、切り替え可能
封筒	VCA, VCF

接続

MIDIイン/アウト/スルー	5ピンDIN / 16チャンネル
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
主な出力	2 x 1/4インチTRS、バランス、最大22 dBu
インピーダンス	50 Ω
ヘッドフォン	1/4インチTRS、ステレオ、最大25mW dBu
インピーダンス	25 Ω

フットペダル	
ピブラート	1/4インチTRS、バランス
フィルター	1/4インチTRS、バランス
フォアスイッチ	
サスティン	1/4" モノラル
プログラムアドバンス	1/4" モノラル
持つ	1/4" モノラル

ティックカー

種類	クラス準拠のUSB 2.0、タイプB
サポートされているオペレーティングシステム	ウィンドウズ 7 以上 Mac OS X 10.10 以上

マニュアルセクション

コントロール	ボリューム: 0 から 10 秤 マスターチューン
--------	---------------------------------

制御セクション

コントロール	ポルタメント OSC 2 デチューン
スイッチ	ユニゾン

アルペジエーターセクション

スイッチ	設定 持つ オン
------	----------------

LF0 セクション

コントロール	LF0レート
スイッチ	波形 サイン ノコギリ 正方形 ランプアップ サンプル&ホールド 三角 ティックカー

変調部

コントロール	OSC 1 深さ OSC 2 の深さ
スイッチ	OSC 1 周波数 OSC 2 周波数 フィルター周波数 OSC 1 PWM OSC 2 PWM ボリュームモッズ

発振器部

コントロール	周波数 1 パルス幅 周波数 2
スイッチ	鋸波形1 パルス波形1 同期 OSC 2 F-ENV (エンベロープフォロー) OSC 2 鋸波形2 パルス波形2 動く

キーボードセクション

スイッチ	スプリット (キーボード) ダブル (キーボード) 下 (キーボード) アッパー (キーボード) コード 転置 転置
------	--

シーケンサーセクション

スイッチ	休憩/ネクタイ 記録 止める 再生/一時停止
------	---------------------------------

フィルターセクション

コントロール	周波数 レゾナンス 転調 雑音
スイッチ	OSC 1 ハーフ OSC 2 フル OSC 2 4極 トラック

封筒セクション

コントロール	攻撃 (エンベロープ) 減衰 (エンベロープ) サスティン(封筒) リリース (封筒) 攻撃 (フィルター) 減衰(フィルター) サスティン(フィルター) リリース(フィルター)
--------	--

プログラマーセクション

コントロール	エンコーダーの選択 比べる 手動 書く プリセット/値 - プリセット/値+
導かれた	2 x ライン、16 桁 LCD ディスプレイ
割り当て可能なプリセットリコールセクション	1 / USB / MIDI 2 / ベル/後方 3 / 音声 4 / モッズ

パフォーマンス LFO

コントロール	率 深さ
スイッチ	波形 OSC 1 mod OSC 2 mod OSC 2のみ(バンド) 量(バンド)
導かれた	三角形 正方形 ランプアップ ノコギリ ランダム サンプル&ホールド

電力要件

メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル
消費電力	最大 40 W
ヒューズ	3.15 A
内部スイッチモード電源	オートレンジ 100-240 V, (50/60 Hz)
導かれた	力

形而下

標準動作温度範囲	5°C - 45°C (41°F - 113°F)
寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	119 mm x 224.1 mm x 460.75 mm (4.68" x 8.83" x 18.14")
重量	4.84 キロ (10.67 = ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You